

## 第1学年 総合的な学習指導案（郷土学習指導案）

日 時 平成28年11月9日（水）  
学 級 1年1組(男12名 女16名 計28名)  
場 所 1年1組教室  
指導者 教諭 藤澤 俊介

1 題材 「釜石ツアーパンフレット」を作成しよう

2 ねらい 郷土である釜石を知ることにより、より郷土への愛着と誇りを喚起させる

3 題材設定の理由

(1) 価値について

本校の総合的な学習においては、自己の生き方を考え、よりよく生きていこうとする態度を養うことを目標としている。3年間で、自分の生きる郷土を様々な角度から見つめ、そこに生きる自己の存在を価値づけることを目指すものである。第1学年は、郷土の知識を深めること、第2学年は、郷土の産業について理解を深めること、第3学年は、郷土の未来に希望を持たせることを中心に系統的な学習を展開していくことにした。

第1学年では、3年間の土台となる郷土の知識を得ることにより、先人達の努力と苦勞、未来への希望を知ることが目的としている。そのため、郷土のツアーを紹介することで、より深い理解を促すことがこの題材設定の最大のねらいとなる。

(2) 生徒について

興味・関心が強く、調べたいと感じたことを追求する姿勢を持っている。そのため、「釜石」をより深く知るきっかけとして「釜石ツアーパンフレット」作成を実践した。調査活動やパンフレット作成作業を通して、釜石の魅力を再確認するだけでなく、新たな発見をすると考えられる。また、成り立ちを知ることにより、郷土への愛着と誇りを感じることを考えた。

(3) 題材について

「釜石ツアーパンフレット」を作成するにあたり、その施設や場所の位置、歴史、背景を調査することとなり、自然と釜石の所々への興味を喚起し、調査を自ら行いたいと感じることとなると予想しこの題材を設定した。

(4) 研究主題との関わり

研究主題「自己肯定感をもち、復興に貢献しようとする生徒の育成」

～いのちを大切にし、郷土を理解する活動を通して～

自己肯定感とは現在の自分に愛着と誇りを感じることに捉えた。そこで、3年間の総合学習を系統化することで、郷土への愛着と理解を深めることが必要不可欠と考えた。そのことが起因となり、自らの郷土への誇りを感じ、そのことが自己への肯定感につながっていくと考え、本カリキュラムを設定した。

第1学年では、郷土への理解を深める活動を通し、郷土への愛着、誇りを喚起することが主目的である。

第2学年では、釜石の産業、職業の学習を通して、釜石の魅力を感じることを主目的となる。

第3学年では、2年間で培ってきた知識と経験、愛着と誇りを土台として釜石の未来を考える。郷土への理解と愛着が深まったところで未来を考えることは、自己と郷土への責任をより深く感じ自己の将来への明るい展望と郷土発展への寄与を考える礎となる。これが主目的である。

以上3年間の総合的な学習を系統化することで、相互作用が生まれ、より深い学習効果を得られると考えた。また、本校の研究主題にも迫れると考えた。

(5) 単元目標

釜石の自然，町，人々を愛する心について理解し，身近な地域で起こる恐れのある災害への備えについて，課題を見つけ，自ら学び，主体的に判断し，行動する力を身につけることができる。

(身につけさせたい資質や能力)

〈学習への主体的・創造的な態度〉

- ・郷土について関心を持ち，郷土について意欲的に考えたり調べたりする。

〈課題設定の能力〉

- ・郷土を知り，郷土の魅力を考えたり，伝えたりする方法を見いだすことができる。

〈問題解決への思考・判断〉

- ・調査した郷土の資料を基に，郷土の魅力について説明することができる。

〈学習活動に関わる技能・表現〉

- ・調査し，まとめた郷土の魅力を表現することができる。

4 指導計画

	題材	具体の21項目との関連
第1時	釜石の良いところを探そう	⑫【自分と地域社会】
第2時	釜石の良いところをまとめよう	⑫【自分と地域社会】
第3～4時	釜石のまちづくりに携わる方の話を聞こう	⑫【自分と地域社会】 ⑬【地域づくり】
第5時	釜石の良いところをジャンル分けして調べよう	⑫【自分と地域社会】
夏課題	釜石の良いところをレポートしよう(ジャンル毎)	⑤【やり抜く強さ】 ⑫【自分と地域社会】
第6時	良いところをツアーガイドしよう	⑫【自分と地域社会】
第7～9時	釜石ツアーパンフレットを作成しよう	⑫【自分と地域社会】
第10時	詳しく調べる場所を選定しよう	⑫【自分と地域社会】
第11～14時	行って自分で調べよう(校外学習)	⑫【自分と地域社会】
第15時	釜石ツアーパンフレットを完成しよう	⑫【自分と地域社会】
第16時(本時)	自分たちのツアーを紹介しよう	③【価値ある自分】

## 5 本時の指導

### (1) 本時の目標

- ① パンフレット作成を通して、釜石の特徴を知った。そのことを自分たちの力で紹介することで、学級の他の生徒に魅力を伝えさせる。
- ② ツアーのポスターセッションを互いに評価し、肯定感を高めさせる。

### (2) 本時の評価規準

身につけさせたい 資質や能力	評価規準
学習課題に対する 技能・表現	ツアーについて調査し、まとめ、ツアーの魅力を伝えることができる。

### (3) 本時の指導

生徒が作成したツアーパンフレットについてポスターセッションを行わせる。その内容に対し、生徒が互いに評価をし、互いの頑張りを認めあえるようにする。互いの頑張りが言葉だけでなく、視覚的に分かるように工夫を施す。

### (4) 本時の展開

段階・時間	学習活動	形態	指導上の留意点・支援	評価
導入 (3分)	・各班で作成したパンフレットのジャンルについて全体に説明をする。	一斉	・ジャンルの違いをしつかりととらえさせる。	
展開 (32分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">           学習課題 自分たちのツアーの魅力を伝え、お互いによかったところを評価しよう。         </div> ・発表前に感想用紙を配布する。 ・各グループの発表(5つのグループ)発表(2分)→感想記入(4分)合計6分で1グループ×5	発表 グループ 聞き手 全体	・ポスターセッションの仕方は、事前指導しておく。 ・感想記入の間に、次のグループの準備を行う。	・各グループが特徴を捉えているか、内容で評価する。(発表)
まとめ (15分)	・感想を基に各グループへの部門賞を決定する。 ・生徒の感想発表。 ・教師のまとめ(生徒の発表で終了することもある)	一斉	・集約は付箋を使いその場ですぐわかるように工夫をする。 ・残り時間を考慮し、人数を決定する。 ・机間巡視で指名しておく。 ・生徒の感想がまとめとしていい場合は、教師のまとめは行わない。	・各部門賞を設定し、付箋の色で各グループの部門賞を確定する。(評価・技能、表現)